

奈の良

2024年 ①

川上村

湯盛温泉 ホテル杉の湯 1

森と水の源流館 2

入之波温泉 山鳩湯 3



湯盛温泉 ホテル杉の湯



(写真提供：ホテル杉の湯)

ホテル杉の湯には、ホテルの名物の一つとして温泉があり、私も日帰り入浴をしてきました。ホテルには金明の湯と銀嶺の湯の2種類があり、私は銀嶺の湯に入りました。特に、露天風呂からは奥吉野溪谷の素晴らしい眺めが楽しむことができ、とてもリラックスすることができました。

この日は時間の都合であまり長く滞在することはできませんでしたが、あまりの居心地の良さに、本当は一日中露天風呂につかっていたかったです。

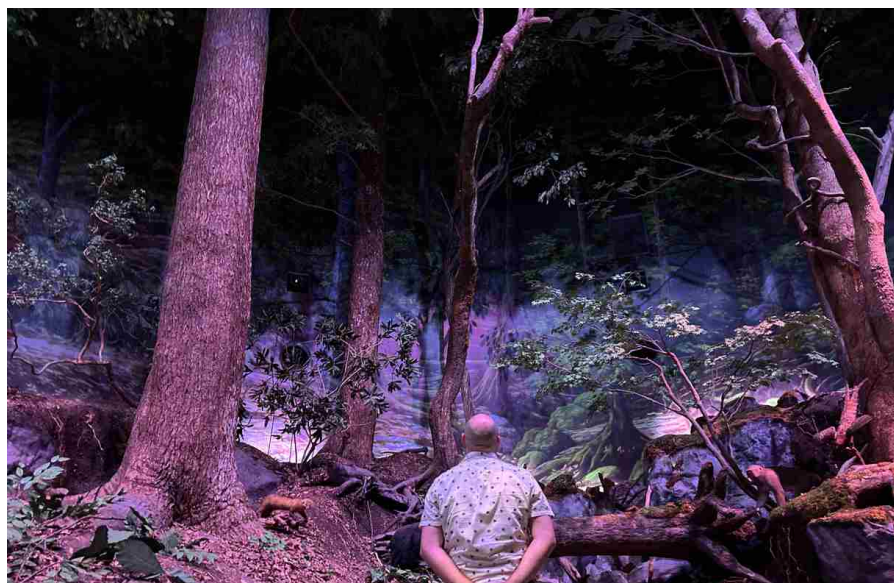
また、風呂上がりには、岡田支配人に案内いただき、2014年11月に当時の天皇皇后両陛下（現在の上皇上皇后両陛下）がご休憩された部屋を見学させていただきました。部屋には両陛下が着席された椅子が今も当時のまま残されており、私も座らせていただくなど、とても貴重な体験をすることができました！

その後、ホテルのレストランで魚料理の御膳を食べました。郷土料理でありながらとても洗練した味で、どれも美味しかったです。ご馳走様でした！

杉の湯のスタッフのおもてなしと優しさに本当に感謝しています。また遊びに行きます！



森と水の源流館



川上村にある「森と水の源流館」に行ってきました！川上村は山村で、名前のとおり吉野川（紀の川）の源流の村です。この施設は、「樹と水と人の共生」を目指し、水源地として、その自然的価値、文化的価値を、流域をはじめとする都市部の人々に伝えるため、2002年に開館しました。

入場し、すぐ目に入ってきたのは上流・中流・下流の3つに分かれた大きな水槽です。この水槽は、それぞれの環境が再現されており、生息する生き物を見比べることができます。

「源流の森ジオラマ」もとても印象に残りました。このジオラマは、川上村の源流の森を精巧に再現されており、生息する植物や生き物などを学ぶことができます。特に本物の木の幹が使われている巨木はとても迫力がありました。

その他にも、3階にはフィールド体験コーナーがあり、遊びながら楽しく、森・川・里に生息する生き物などについて勉強できます。水源地・川上村の生態系や人と自然とのつながり、その歴史などについて、面白い展示や体験を通し、深く理解することができました。

興味深い見学でしたので、自然が好きな方には是非お勧めします！



入之波温泉 山鳩湯



(写真提供：山鳩湯)

今回訪れた山鳩湯の泉質は、ナトリウム炭酸水素塩で、時間が経つにつれて無色透明のお湯から黄金色に変化するのが特徴で、美肌の湯としても知られています。

浴槽は丸太でできていますが、温泉の析出物に覆われて、まるで陶器の浴槽にも見えます。長年かけて作られた模様はとても印象的で、温泉愛好家である私も日本に來日して全国の様々な温泉に行きましたが、初めて目にしました。

また、山鳩湯では源泉100%掛け流しの温泉を使っており、温泉の効能を存分に感じることができます。実際に温泉から上がった後も、しばらく汗が止まりませんでした。

さらに、日帰り入浴後、スタッフの方から山鳩湯の特徴や入之波温泉の歴史などについて紹介いただきました。山鳩湯では日帰り入浴はもちろんのこと、宿泊や食事を楽しむことができます。この日はお昼過ぎに訪れたため、残念ながら食べることはできませんでしたが、釜飯が名物で、温泉と食事を楽しむ人も多いそうです。また冬限定で熊鍋も食べることもできます！次回訪れた際には食事も楽しみたいと思います！

皆さんも魅力的な浴槽や食事が楽しめる山鳩湯をぜひ訪れてみてください！



奈の良とは？

『奈の良』は、外国人の目線で見えた奈良県の魅力を県民の方々や外国から来られたお客様に紹介するため、私たち奈良県庁国際課の国際交流員が奈良県で見つけた魅力や面白いことについて自ら取材し、記事にしたものです。本誌が奈良県に興味を持つきっかけや外国人が感じる奈良の魅力を発掘する手がかりとなれば嬉しく思います。

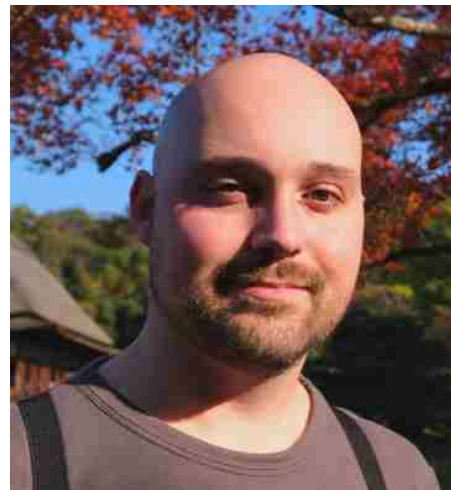
感想

今回は、豊かな自然を感じられる川上村を取材しました。取材を通して、川上村にある山林や清流といった壮大な自然の中で、美味しいご飯を食べたり、とても綺麗な温泉に入るなど、素晴らしい体験ができました。

また、今回の取材先の一つである「森と水の源流館」では、昔の山の暮らしを理解できる模型や、迫力を感じる「源流の森ジオラマ」が、とても印象に残りました。

今回の取材は時間が限られていたため、カヌーや洞窟探検を始めとするアウトドアアクティビティや匠の聚などまでは体験することができませんでしたが、次回はもっと長い時間を取って川上村を訪れようと思います！

最後に、私の任期が終了するため、今回が私の最後の『奈の良』です。皆さん、3年間ありがとうございました。引き続き『奈の良』をよろしくお願いいたします。

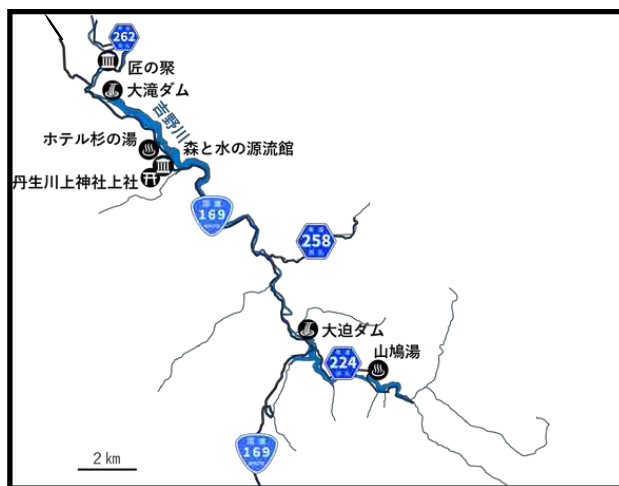


ギエム・ロード

Special Thanks

今回の取材にあたり、湯盛温泉ホテル杉の湯の支配人の岡田一宏さん、森と水の源流館の古山暁さん及び高田裕市さん、そして入之波温泉山鳩湯の皆様感謝いたします。また、御協力いただいた方々にお礼を申し上げます。

アクセス



お車で

奈良市から 約1時間30分
橿原市から 約1時間
和歌山市から 約2時間30分

バスで

大和上市より
R169ゆうゆうバスまたはやまぶきバス 約30分

奈の良

発行元：奈良県知事公室国際課
発行：令和6年7月

本誌に関するご意見、ご質問等は
右側の問い合わせ先へご連絡ください。

〒630-8501
奈良市登大路町30
奈良県知事公室国際課
TEL: 0742-27-8477
FAX: 0742-22-1260

